

まちづくり 広場

～地域、市民、行政、そして専門家市民
が織り成す活動と建築・都市～

1995年の阪神淡路大震災等の経験から、まちづくりや防災等における市民協働の大切さが改めて認識され、1998年には特定非営利活動促進法が制定されて、市民活動の法人化が社会的に認められるようになってきました。その後、10年余を経て、様々な分野でNPO活動をはじめ地域やテーマでの活動の実績が積み上げられてきています。そして、昨年の3.11とその後の状況は、この協働関係の中で、いわゆる専門家や、学会・研究者がどういう役割を果たしているかが、改めて問いかけられています。

2003年度に開催された前回の東海大会では、まちづくりにおいてユニークな活動を展開しているNPOとともに、市民、行政、専門家の協働によるまちづくりについて、いろいろな角度から考える場を持ちました。

今回は、その後の展開で試されたさらに多くの経験を、現場から直接、学会の場に、情報と人を持ち込み、地域、市民、行政、専門家の協働関係の中での学会・研究者の役割を考えたいと思います。また、地域で活動する人たちに対しても、その活動を発信する機会をつくり、学会・研究者と意見交換することは、今後のこの地域での展開にとって、また、全国の同様の取り組みにとって、有効であると考えています。9年に一度の学会大会という機会に、開催地から発信します。

[大会期間中]

2012.9.12水 - 14金

名古屋大学 環境総合館

1階玄関ホール・レクチャーホール

| 参加費無料 (出入り自由) | 一部有償配布資料あり |

関連情報：

2012年度 日本建築学会大会 [東海]

記念シンポジウム「名古屋・愛知・東海の防災とまちづくり」

東日本大震災後の住まいの復興と土地利用の再編を含む都市の復興の考え方を学んだ上で、震災の発生を見据えた名古屋・愛知の都市計画・まちづくりのこれからのことについて考えます。詳しくは、大会ウェブサイトをご覧ください。

日時：2012年9月14日金 13:30～17:00 会場：名古屋大学 豊田講堂 定員 1,200名

□パネル展示

東海地域の建築・都市に関わる様々な活動を発信します。出展者による解説と大会参加者である研究・専門家との意見交換の場になります。

□テーマトーク

テーマごとに事例発表と参加者の意見交換を行います。サロンのような雰囲気で行います。

9.12 12:30-14:00
トーク企画①：



名古屋大学と名古屋・山の手

トークコーディネーター：小松 尚 (名古屋大学)
事例：名古屋大学と名古屋・山の手 (小松 尚)
なごや東山の森づくりの会 (滝川 正子)
NPO 法人揚輝荘の会 (佐藤 允孝)

9.12 15:00-16:30
トーク企画②：



地域の施設を作る

～「市民参加」の施設作りから10年～

トークコーディネーター：浅野 聡 (三重大)
事例：伊勢河崎商人館 (高橋 徹)
犬山市楽田ふれあいセンター「しろやま」
武豊町民会館「ゆめたろうプラザ」(櫻場 敬信)

9.13 9:30-12:00
トーク企画③：



まちづくりと地域の変容

～まちなかと郊外団地～

トークコーディネーター：吉村 輝彦 (日本福祉大学)
事例：UR 都市機構・鳴子団地の再生
可児市桜ヶ丘ハイツまちづくり協議会 (河崎 典夫)
犬山市城下町のまちづくり
常滑市大野町 (大野コミュニティ)

9.14 9:30-11:00
トーク企画④：



災害とコミュニティ・建築・まちづくり ～災害と向き合う～

トークコーディネーター：川端 寛文 (名古屋大学)
事例：名古屋みどり災害ボランティアネットワーク (岡田 雅美)
半田市岩滑区耐震改修とまちづくり (後藤 章次)
三重大学 (林 克己)

□現場見学会

トーク・パネル展示関係の地域・施設について現場見学会を設定しています。

2012.9.12 水-15 土 | 現地集合 | 交通費各自負担 |

※詳細は「まちづくり広場」のホームページをご覧ください。

<http://www.vns.or.jp/aij2012.htm>